

Sumatra Mandheling

Aceh Pantan Kauka

アチェ州 (Aceh Province) のコーヒー農園は、インドネシアを代表する高品質アラビカコーヒー産地の一つで、特にGayo (ガヨ) 高原が有名です。スマトラ島北部に位置し、火山性土壌・高地気候・伝統的な加工法が独特の風味を生み出しています。ガヨ高原は、中央アチェ (Aceh Tengah)、Bener Meriah、Gayo Luesなどが中心。タケンゴン (Takengon) 周辺のLake Laut Tawar (ラウトタワール湖) 近くの標高1,100~1,700m前後の地域です。火山性土壌で栄養豊富。涼しい高地でゆっくり成熟するため、密度の高い豆になります。シェードツリー (shade-grown) の下で栽培されることが多く、生物多様性を保っています。ルーサー (Leuser) 地域はスマトラ島北部 (主にアチェ州と北スマトラ州) に広がる世界的に重要な熱帯雨林エリアです。正式にはLeuser Ecosystem (ルーサー生態系) と呼ばれ、Gunung Leuser National Park (グスン・ルーサー国立公園) を核としています。その規模は約260万ヘクタール (約2.6百万ha、約6百万エーカー)。イエローストーン国立公園の約3倍の広さです。アチェ州を中心に、北スマトラ州にもまたがる広大な生態系で、Bukit Barisan (ブキット・バリサン山脈) に位置します。最高峰はGunung Leuser (標高約3,381m)。低地から山岳部、泥炭湿地、河川・湖まで多様な地形を含みます。この地域の最大の特徴は、スマトラ島固有の大型哺乳類4種が同時に生息する地球上で唯一の場所であることで、世界的に希少です。他にも多様な生物が生息：植物種：約8,500~10,000種 (ラフレシアなど世界最大級の花も)、哺乳類：約200種以上、鳥類：約350~580種、UNESCO世界遺産「Tropical Rainforest Heritage of Sumatra」の構成要素の一つで、Biosphere Reserve (生物圏保護区) にも指定されています。

※スマトラ島固有の大型哺乳類4種:

スマトラオランウータン、スマトラトラ、スマトラゾウ、スマトラサイ

そんなルーサー地域の高地に位置するのが、ルーサー・コレクティブ・コーヒー (Leuser Collective Coffee) の所有するパンタンカウカ農園 (Pantan Kauka Estate) です。森林保護と両立させる取り組み (アグロフォレストリー、有機栽培など) が行われており、環境保全意識の高いモデルケースとなっています。ルーサー生態系はコーヒー生産地としても豊かな土壌を提供しています。スマトラ独特の方法「ハイブリッド・ウェットハル」は、完全したチェリーを収穫、水に浮かべ、浮いたチェリーは取り除き選別します。チェリーを果肉除去し、発酵後、きれいに洗浄します。ベッドで乾燥させ、水分値30%まで下げた後、脱穀工程へ。その後、再びベッドで乾燥し、水分値11.5~12%になるまで乾燥させます。その後、生豆を選別を行います。これにより、フルボディ・低酸味・土っぽさ・ハーブ・チョコレート・スパイスなどの複雑な風味が生まれます。

商品名：インドネシア スマトラ マンデリン アチェルーサー パンタンカウカ農園

生産国：インドネシア

生産地：スマトラ島 アチェ州 ルーサー国立公園近辺 / 標高：1,400~1,700m

生産者：パンタン・カウカ・エステート (ルーサー・コレクティブ・コーヒー)

精製：スマトラ式 / 乾燥：天日乾燥

品種：シガラルタン / 規格：G1

※栽培期間中の農薬や化学肥料は不使用。

